

授業科目 QOLの世界

【担当教員名】 能登 真一、 石原 美由紀 他	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健栄・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	○

【概要・一般目標：G10】
 I. ひとの生きがい、人生の幸福・満足感を知るために、社会の発展に貢献したモデル事例の行動を調査し、一般的なQOLを理解する。
 II. 広い年齢層にわたる患者、対象者の問題を認識するために、非健康関連QOLと健康関連QOLとの相違を学習する。

【学習目標・行動目標：SBO】
 1. モデル事例の行動を列記できる。モデル事例（予定）
 2. 行動の社会的背景を説明できる。クリストファー・リーブ
 3. 行動の動機を説明できる。神谷美恵子
 4. 行動の社会的意義を説明できる。マジック・ジョンソン など
 5. 行動の課題を整理できる。
 6. モデル事例における達成感を説明できる。
 7. QOLとは何かを説明することができる。
 8. 自身のQOLとともに他人のQOLにも関心を持ち、QOLサポーターとして役立つとする態度を身につける。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	本学の理念としてのQOL・オリエンテーション 一般事例の選択	1	講義、グループ分け
2	QOL一般論、モデル事例の調査	1～6	
3	QOL一般論、モデル事例の調査	1～6	
4	モデル事例の調査（グループディスカッション）	1～6	
5	モデル事例の調査（グループディスカッション）	1～6	
6	モデル事例の調査発表（前半グループ）	1～6	
7	モデル事例の調査発表（後半グループ）	7	
8	QOL一般論アンケート、まとめ		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料	図書館などの資料を利用、モデル事例についてのDVD インターネットによる検索			

【評価方法】 モデル事例の調査に基づいたレポート、出席、グループ発表、期末試験を総合して評価	【履修上の留意点】 ノート型パソコン使用
---	-------------------------